

## I-8. 我が国および国際社会の将来の社会像に関する知見の把握・分析

Understanding and analysis of knowledge about the future society

<b>キーワード</b> Key Word	フォーサイト、社会ビジョン、科学技術政策 Foresight, Social vision, Science and Technology policy
--------------------------	---

### 1. 調査の目的

本調査では、第5期科学技術基本計画の策定の検討に資するため、科学技術イノベーション政策の対象領域に限らず、経済、産業、資源、エネルギー、人口、食料、国際社会等、既存の調査や文献等から将来社会に関する情報を幅広く収集し、社会における変化の要因の把握とこれら将来社会に関する情報の活用方策についての検討を行った。

本調査で対象とする将来社会は、「第5期基本計画」の終了年である2020年(平成32年)までの中期的な将来と、「科学技術イノベーション総合戦略」の長期ビジョンの目標年次である2030年(平成42年)から2050年(平成62年)までの長期・超長期の将来とした。

科学技術イノベーションに関わる将来社会の予測は、これまでも文部科学省の科学技術予測調査、経済産業省の技術戦略マップ等の検討の一環で関連の調査が行われてきた。これらは、科学技術動向の進展(個々の科学技術課題や分野・領域)を把握するためのものであり、その前提条件の一つである将来社会の姿の想定は、科学技術の進展に関わる将来社会の問題が中心である。一方、本調査では、「第4期科学技術基本計画及び科学技術イノベーション総合戦略における科学技術イノベーションのシステム改革等のフォローアップに係る調査」の一環で実施したものであり、将来の社会の姿(社会像)の把握にあたっては、グローバル化、人口動態等、社会の構成要素(各種の政策が立脚する環境)に焦点を当て、国内外の既存の調査・文献等から幅広く俯瞰的に将来社会に関する情報の収集・整理、社会の変化要因等の把握を行った。

### 2. 調査研究成果概要

#### (1) 調査の構造

本調査では、国内外の「将来の社会像」関連文献、「科学技術動向の把握」関連文献等を調査し、記載内容(以下、予測情報)についての分析を行った。抽出した予測情報について、整理・分析を行うため、将来社会に関する検討に携わった経験を有する有識者による検討会を開催し、予測情報の分析や予測情報から推察されるメガトレンド等に関する検討を行った。また、将来のトレンドでは説明できない重要な変化を把握するため、各分野(労働、産業基盤、情報、教育等)の有識者を対象にインタビュー調査を実施し、変化因子の把握を行った。

#### (2) 調査結果の概要

##### ① 国内外の将来社会像を把握するための既存の取組みと政策検討への展開

将来社会像に関する予測に焦点を当てた事例は、欧州委員会の当該取組みに留まり、国内外の多くの予測活動は、個別政策の検討に直接的もしくは間接的に寄与する目的で行われている。近年実施された代表的な取組みとして、米国の国家情報会議が実施した“Global Trends 2030”、英国の国防省の“Global Strategic Trends – Out to 2040”等が有名であるが、これらは個別政策の検討に向けた予測であるものの、検討範囲や対象は、将来の社会課題を幅広く把握できるよう調査が行われている特徴がある。

将来社会像に関する予測により得られた各知見が、欧州の科学技術イノベーション政策の検討にどのように寄与したかについては、公開情報からは把握することはできなかったものの、欧州の政策の担

当者にとっては、フォーサイトの取組みは、将来の問題を特定し回答の道筋を示すためのツールとして重要な取組みであると認識されている。

## ②既存の将来社会像に関する情報とその活用方策

本調査では、国・地域・民間団体・有識者等による将来社会に関する予測文献(報告書、書籍等)を幅広く収集し、これらの文献で予測された将来社会についての情報を活用していくための方策を検討した。

既存文献等で予測された情報(「予測情報」とする)の活用に向けて、各予測情報の構造について検討を行った。検討では、既存の予測情報を「定量的予測情報」と「解釈情報」に分類することで、政策の策定・検討の参照情報として活用しうるとの結論に至った。定量的予測情報は、人口、エネルギー、環境等の情報が中心であり、政策の策定・検討に活用しうる信頼性の高い情報と位置づけることができる。その一方で、予測情報の多くは、解釈情報を伴うものであり、予測文献の性格等、特定の価値判断が含まれた情報である。今後、これらの情報を活用していくには、解釈情報についての分析手法等が必要である。

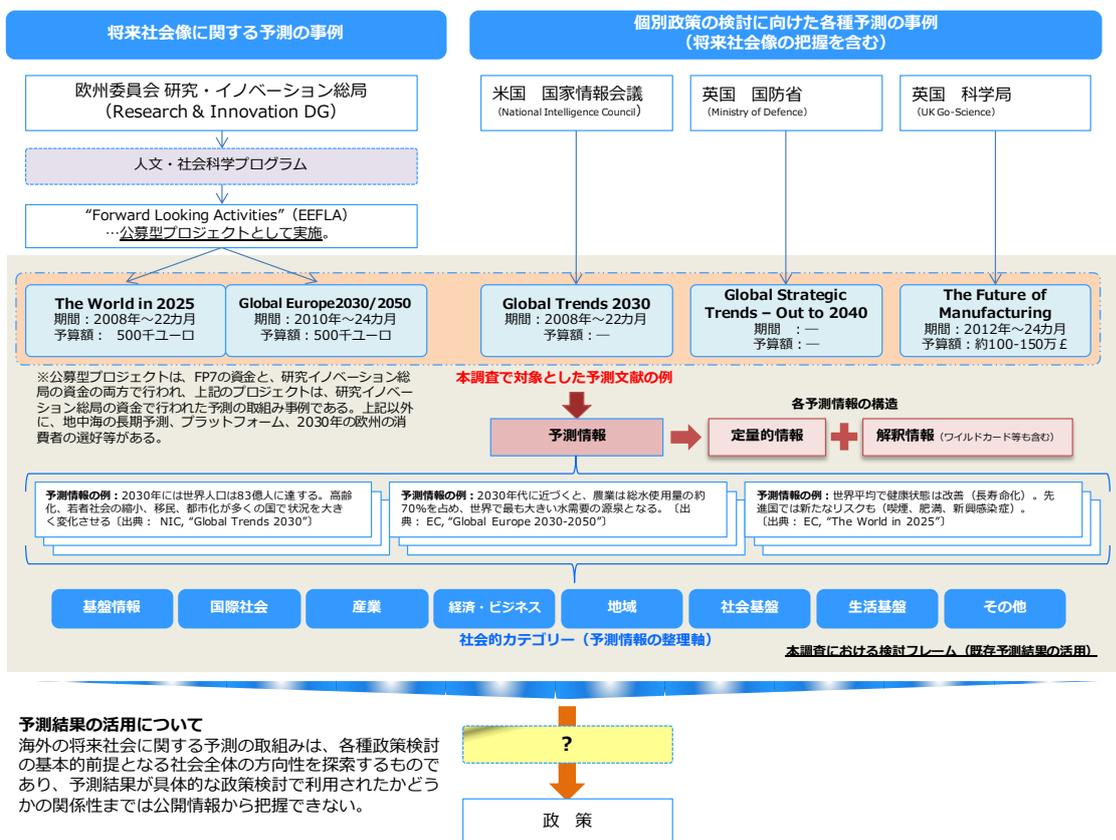


図1 既存の将来社会像に関する知見の把握・分析における検討フレーム

### (3)考察(まとめ)

我が国の科学技術政策は、科学技術イノベーション政策へと変化していく中で、将来の国・地域が抱える社会的な課題を明らかにし、その解決に寄与する科学技術振興していくことがますます重要になってきている。これら将来社会における課題把握を含め、フォーサイトに係る体制が整備されることで、国のみならず、地域社会においても、科学技術の進展を踏まえた社会シナリオの検討や将来の地域社会を踏まえた科学技術課題の検討といった予測の積極的な利活用が期待される。